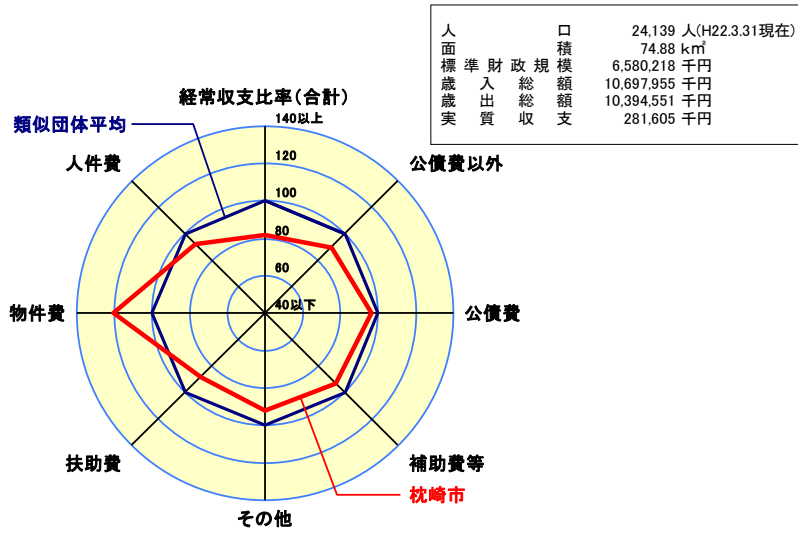
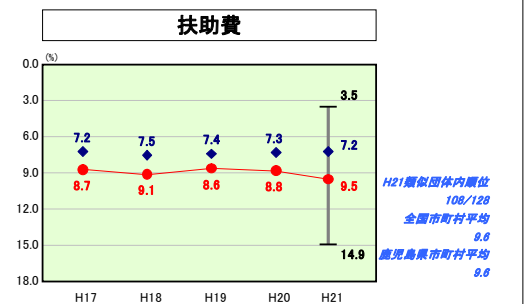
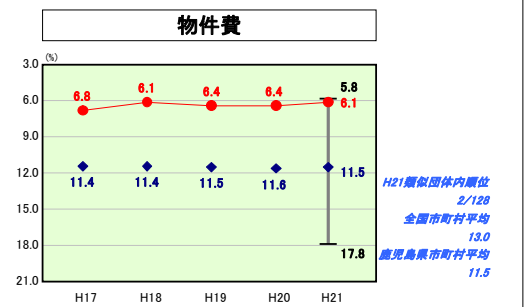
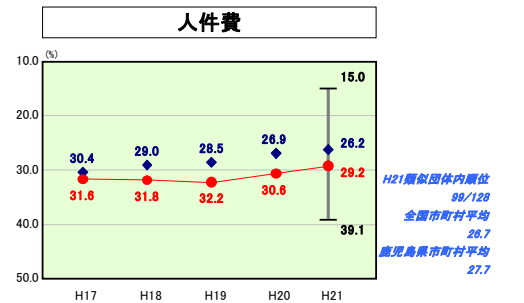
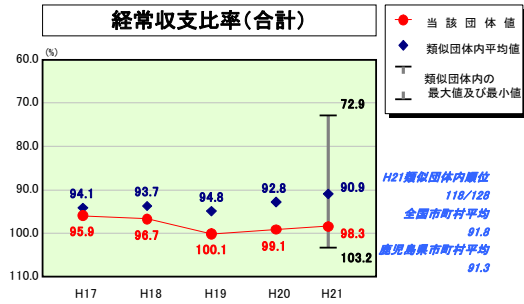
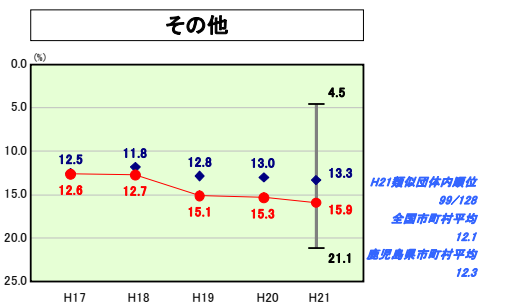
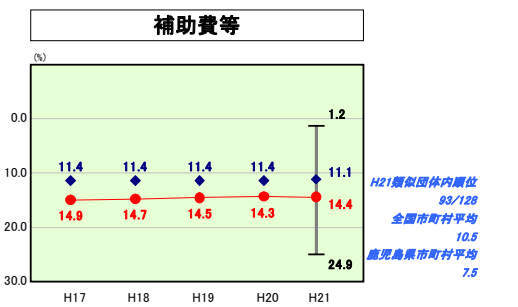
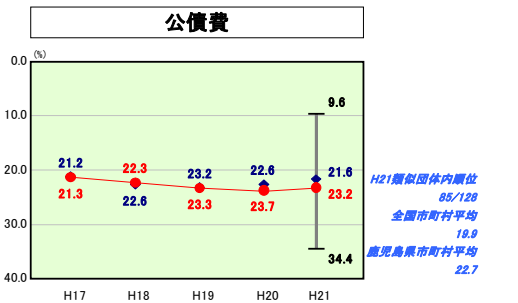
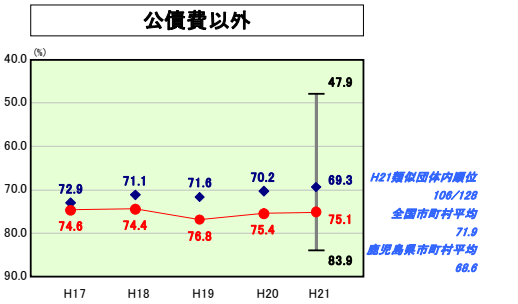


歳出比較分析表(平成21年度普通会計決算)

経常収支比率の分析



人口	24,139人(H22.3.31現在)
面積	74.88 km ²
標準財政規模	6,580,218千円
歳入総額	10,697,955千円
歳出総額	10,394,551千円
実質収支	281,605千円



- 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- 当該団体の八角形が平均値の八角形より外側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

【人件費】

新規採用の抑制等による職員数の減や給与カット等による職員給与費の減少に伴い、毎年減少してきている。しかしながら、人件費の経常収支比率は類似団体と比較すると高い水準にあるため、引き続き新規採用の抑制などによる職員数の減など行財政改革への取組みを通じて人件費の削減に努める。

【物件費】

毎年度徹底した事務事業の見直しを行ってきており、物件費の経常収支比率は類似団体と比較してもかなり下回っており、一定の効果を上げていると思われる。今後とも行財政改革への取組みを行い、第2次行財政集中改革プランに基づいた見直しを進めていく。

【扶助費】

妙見の里の民営化に伴う老人ホームの措置費の増や生活保護費の増等で、前年度に比べ増加している。また、子育て支援等の拡充により児童福祉費が増加し、扶助費に占める割合も4割程度となってきている。類似団体の平均を大きく上回っており、単独扶助費等について制度面からの見直しも含め、上昇傾向に歯止めがかけられるよう努める。

【公債費】

台風の常襲地帯であることから、災害対策等の事業を推進してきたことにより、類似団体の平均と比較するとわずかに上回った数値で推移してきていたが、自然災害防止事業債の元利償還金の増高により年々公債費は増加傾向にあり、また退職手当債の償還も始まってきていることから非常に厳しい財政運営となることが予想される。引き続き地方債の新規発行の抑制に努めるなど、公債費負担の適正な管理に努める。

【補助費等】

類似団体の平均を大きく上回る状況が近年続いている。これはごみ処理施設建設に係る衛生管理組合への負担金をはじめとする一部事務組合への負担金額が大きいため影響している。

【その他】

下水道事業特別会計の繰出基準の算出方法の見直しによって、経常経費となる繰出金基準に基づく繰出しが増となったことなどが影響し、昨年度同様、類似団体の平均を大きく上回っている。このようなことから特別会計については、歳入確保に努めるとともに事務事業の見直しを行って歳出削減に努め、繰出金の抑制に努める。

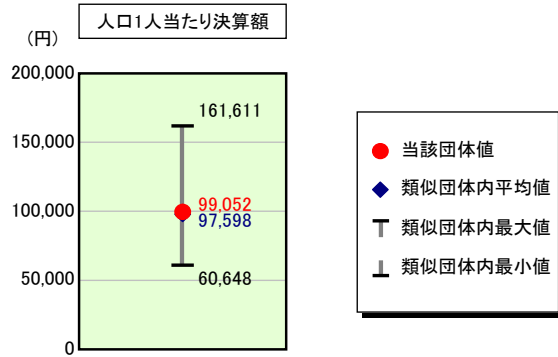
【普通建設事業費】

公債費負担の軽減を図るため、投資的経費の適切な選択と重点化を行い、市債の借入額を計画的に抑制してきていることから減少傾向にあり、類似団体の平均を大きく下回っている。平成21年度は、国の緊急経済対策に伴う臨時交付金等を活用したことから増加している。

歳出比較分析表(平成21年度普通会計決算)

鹿児島県 枕崎市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



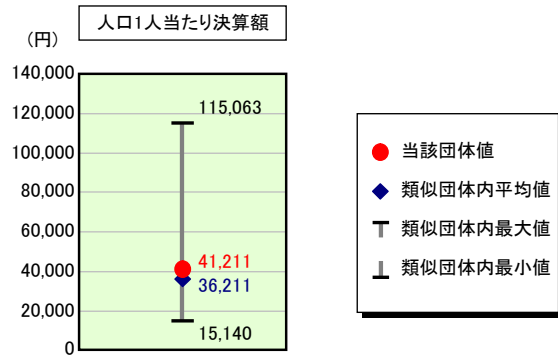
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		対比(%)
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	
人件費	2,087,689	86,486	87,870	1.6
賃金(物件費)	7,159	297	5,711	94.8
一部事務組合負担金(補助費等)	331,920	13,750	9,150	50.3
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	740	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	0	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	106,494	4,412	3,657	20.6
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	102,407	4,242	1,891	124.3
退職金	244,661	10,136	11,422	11.3
合計	2,391,008	99,052	97,598	1.5

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	9.32	9.62	0.30
ラスパイレス指数	96.3	96.2	0.1

公債費及び公債費に準ずる費用の分析



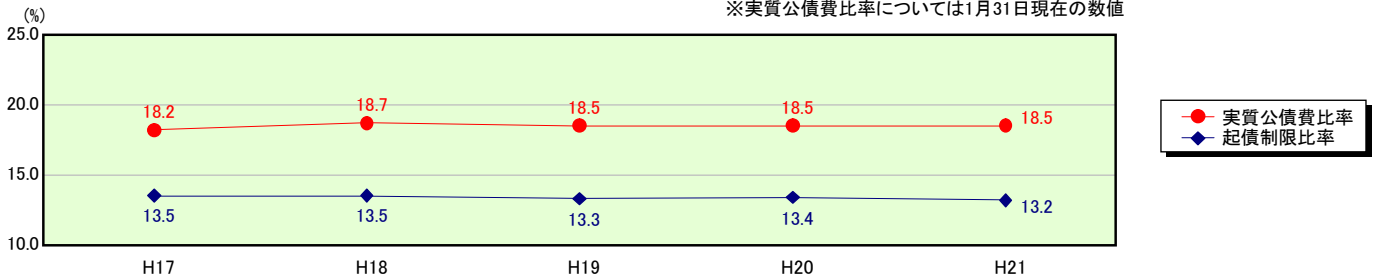
公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

1月31日現在の数値

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		対比(%)
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	1,617,811	67,021	66,472	0.8
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	40	-
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	267,060	11,063	16,113	31.3
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は 負担金に充当する一般財源等額	374,236	15,503	4,390	253.1
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する 一般財源等額	24,311	1,007	2,376	57.6
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	507	21	24	12.5
特定財源の額	79,823	3,307	4,690	29.5
地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	1,209,308	50,098	48,515	3.3
合計	994,794	41,211	36,211	13.8

※参考 実質公債費比率及び起債制限比率の推移

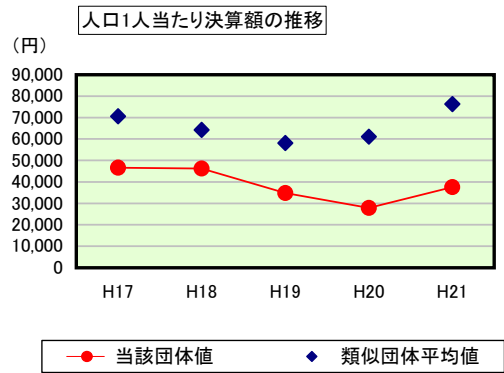
※実質公債費比率については1月31日現在の数値



歳出比較分析表(平成21年度普通会計決算)

鹿児島県 枕崎市

普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H17	1,190,922	46,642	4.7	70,563	5.8	1.1
うち単独分	859,350	33,656	11.7	38,225	27.7	16.0
H18	1,163,213	46,185	1.0	64,305	8.9	7.9
うち単独分	915,079	36,333	8.0	34,136	10.7	18.7
H19	861,803	34,794	24.7	58,137	9.6	15.1
うち単独分	699,375	28,236	22.3	29,406	13.9	8.4
H20	680,620	27,866	19.9	61,050	5.0	24.9
うち単独分	498,407	20,406	27.7	31,167	6.0	33.7
H21	906,833	37,567	34.8	76,282	25.0	9.8
うち単独分	727,738	30,148	47.7	41,092	31.8	15.9
過去5年間平均	960,678	38,611	1.2	66,067	3.5	4.7
うち単独分	739,990	29,756	3.5	34,805	8.2	4.7